



シラバス参照

タイトル「**2015年度 観光学部シラバス**」、フォルダ「**2015年度 観光学部シラバス**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	観光のための数的推理		
担当教員	中串 孝志		
対象学年	1年	クラス	T1
講義室	E-104	開講学期	後期
曜日・時限	金2	単位区分	選必
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考			
科目名 (英語表記)			
授業の概要・ねらい	日常生活には数字があふれています。ニュースに数字が出ない日はありません。観光を学ぶにせよ、地域を学ぶにせよ、社会を相手にするので、数学以前に「数字」を使って物事を考えるのは基本中の基本です（だからこそ公務員試験ではどの試験種でも数的処理は全問とも回答が必須なのです）。また、数の感覚さえあれば防げる詐欺も少なくないでしょう。しかし、観光学部学生の中には、（数学には何ら関係なくとも）数字を見た瞬間に反射的に思考停止に陥る人が少なくない。そんなあなたのための授業を目指します。少しでも数字に負けずに生きていけるよう、あるいは少しでも「数の感覚」を持てるよう、脳のトレーニングをしましょう。		
授業計画	回	内容	
	1	Introduction	
	2	正しいどんぶり勘定 (1)	
	3	正しいどんぶり勘定 (2)	
	4	お金	
	5	グラフでだます方法 (1): いろいろなグラフ	
	6	グラフでだます方法 (2): 指数とべき乗	
	7	グラフでだます方法 (3): 数字を歪める	
	8	グラフでだます方法 (4): 華麗なるだましのテクニック	
	9	グラフでだます方法 (5): 時間も思考もあやつる	
	10	マスメディア・リテラシー	
	11	サイコロで1が出る確率は本当に1/6か?	
	12	データを集める	
	13	疫学に学ぶ	
	14	論理	
	15	まとめ	
到達目標	桁の概算で数字の見当を付けることができる。ニュースで見かける数字について考えることができる。公務員試験の「数的処理」分野を捨てなくてもよくなる。		
成績評価の方法	期末レポートまたは試験で評価 (100%)		
教科書	指定しない		
参考書・参考文献	指定しない		

履修上の注意・メッセージ	全学年受講可能ですが、1～2年次のうちに履修しておくことをお勧めします。
履修する上で必要な事項	
受講を推奨する関連科目	科学コミュニケーション論、観光統計
授業時間外学習についての指示	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。
その他連絡事項	



Copyright (c) 2008 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.